

地表踏査



地表踏査は、地表に露出している地層・破砕帯や岩質、岩の割れ目、岩石の構成物、形態、風化度、日表面水、地下水などの状況を地表から観察し、ルートマップを作成します。この地表踏査によって明らかになった事実を総合的に判断して、地形図上に地層や岩石の分布などを表現した成果が地質図です。

地表踏査では、岩石ハンマー、クリノメーター（方位の測定、地質構造の走行傾斜の測定に使用）、ルーペ、野帳、走向板などの道具を用いて調査を行います。
地表踏査の目的は次のとおりです。

- 1) 計画地点・計画路線、あるいは計画範囲を含む広範囲の地形・地質・土質・水文・災害現象などを巨視的に観察し、既存情報の確認や新たな現地情報を収集します。
- 2) 踏査結果をもとに、土工上の問題点、地質条件の良否、以降の調査や施工計画に対する所見を得ます。
- 3) 物理探査・土質調査・ボーリング調査などの前段階の調査として、適地選定や各調査結果の解釈、総合判定を行うための基礎資料とします。

